



玉入れに汗を流す中学生たち

スポーツの秋を楽しむ洞爺湖スポーツまつり2017(洞爺湖町体育協会・洞爺湖町教育委員会共催)

が10月9日、あぶた母子の館体育館と虻田テニスコートを会場に開催され、61人の子どもやお年寄りが参加して、体育の日を楽しみました。

テニスコートでは、小中学生による健康マラソンやミニサッカーなどを実施。一方、体育館では、お年寄りたちを中心にフロアカーリングを行いました。

その後、屋外競技に参加した子どもたちが体育館に合流し、チームに分かれて、玉入れや長縄跳び、バブルサッカー体験に汗を流しました。

体育の日を楽しむ 洞爺湖スポーツまつり 2017

元気自慢のお年寄り参加 洞爺湖町高齢者運動会

秋の恒例行事第12回洞爺湖町高齢者運動会(高齢者運動会実行委員会等主催)が、10月16日、あぶた体育館で開かれ、元気なお年寄り約200人が参加しました。

開会式では、加藤眞春実行委員長が「自分の体力に合わせ、慌てず、焦らず、無理をしないで親交を深めてください」と挨拶し、競技を開始しました。

出場者は、4グループに分かれて、「大玉ころがし」「一発命中」「バケツリレー」など8種目で競い合い、



バケツリレーではりきる元気なお年寄り

体育館いっぱい歓声を響かせていました。

健康のための体力作り学ぶ 道南ブロック町内会活動研究大会

道南地域の自治会役員などが一堂に集まり、平成29年度道南ブロック町内会活動研究大会(北海道町内会連合会・北海道社会福祉協議会主催)が、10月18日、19日の2日間にわたって、洞爺湖温泉のホテルで開催されました。

初日の9日には、基調説明と講演会、テーマ別の分科会が行われました。講演会では、上田知行北翔大学生涯スポーツ学部教授が「健康で安心して暮らせる地域づくり～生涯元気で過ごすカラダの動かし方～」をテーマに、健康のための体力づくりについて、参加



健康な体力づくりについて学ぶ地域の自治会役員の皆さん

者といっしょに体を動かしながら、具体的な方法を説明しました。



避難所運営ゲーム「DOはぐ」に取り組む参加者たち

北海道地域防災マスター認定研修会(北海道危機対策課主催)が10月20日、洞爺湖文化センターで100人が参加して行われました。同制度は地域の防災リーダーを北海道が認定するものです。

当日は、北海道危機対策課から制度などの説明と室蘭地方気象台から「災害から身を守るために役立つ気象情報」と「地震・津波について」の講演があり、防災への理解を深めました。午後からは、各グループに分かれ避難所運営ゲーム「DOはぐ」と消防洞爺湖支署職員と洞爺湖消防団女性分団による応急救護の実習を行い、防災意識を高めました。

地域での防災活動リーダー育成 北海道地域防災マスター認定研修会

北海道地域防災マスター認定研修会(北海道危機対策課主催)



まちのわだ い

アイヌ民族伝統儀式 カムイノミ・イチャルパ

平成29年度洞爺湖町アイヌ先住民族慰霊祭（洞爺湖アイヌ協会主催）が、9月24日、入江の歴史公園にある先住民族慰霊碑前で、同協会会員や行政、議会、教育関係者ら約35人が参加し執り行なわれました。

同協会の妻木征男会長が祭司を務めてカムイノミ（神への祈り）を行い、火の神、幣場を司る神、家の守り神それぞれに祈りを捧げました。イチャルパ（先祖供養）では、女性会員が供物を捧げ、先祖の霊を慰めました。最後に妻木会長が「これからもアイヌ文化の伝承保護に協力をお願いしたい」と挨拶し、慰霊祭を終えました。



厳かな中で執り行われたアイヌ先住民族慰霊祭

洞爺湖町と姉妹都市提携を結んでいる箱根町の消防団が9月26



箱根町消防団との意見交換会

日、27日の2日間の日程で来町しました。訪問したのは、佐須英行団長以下9人。

26日には、洞爺湖消防団との意見交流会が役場で行われ、当町の消防団から、2000年有珠山噴火の経過と被害状況や当時の消防団の活動状況について説明を行いました。

翌日の27日は、歓迎の昼食会を農業研修センターアグリ館とれたで開催。地元特産の魚介類や野菜などが振る舞われ、箱根町消防団の人たちは、洞爺湖の「食」を堪能していました。

箱根町消防団来町 地元消防団と親睦深める

9月29日、

町民を対象にした手話講習会が、役場防災研修ホール



金原さんから楽しく手話を学ぶ町民たち

で約30人が参加して行われました。

平成29年4月に、「洞爺湖町手話言語条例」を制定し、条例の意義を広く町民に知ってもらおうと講習会を企画しました。

当日は、講師の北海道ろうあ連盟事務局長の金原浩之さんが、手話言語条例の意義と聴覚障害者が抱えているさまざまな問題について手話で語りました。引き続き、金原さんの指導で、参加者が自分の名前を手話で表現することに取り組み、手話への理解を深めました。来年早々にも、同様の講習会を予定しています。

手話言語条例の意義学ぶ 町民対象の講習会開催

個性溢れる作品106点応募 小中学生作品展表彰式

10月7日、洞爺湖芸術館で第9回町民ギャラリー小中学生作品展の表彰式が行われました。

絵画や工作など106点の応募があり、その中から最優秀賞、優秀賞、佳作に21点が選定されました。

最優秀賞には、小学校低学年の部が、福原絢乃さん（温泉小1年）、同高学年の部では、佐藤きららさん（温泉小6年）、中学生の部は、岡本寛さん（洞爺中2年）が、それぞれ受賞しました。

福原さんは「今まで賞をもらったことがなかったのでもっとうれしい」と素直に話し、佐藤さんは「佳作はあるが、最優秀賞は初めて」と受賞を喜んでいました。



最優秀賞を受賞した福原さん（左）と佐藤さん

まちのわだい

